

が進む鶴住居地区。

5 万の盛り土の上に6千の観客席を設けた。W杯は仮設で1万席を加える。9月25日にフィジー対ウルグアイ、10月13日にナミビア対カナダが行われる。

ぶらり

釜石湾を見下ろす崖の上に釜石大観音（0193

・24・2125）が立つ。内部のらせん階段に沿って七福神胎内巡りができ、11～12階

は標高120 ㍎の「魚籃展望台」。

リアス式海岸や太平洋のパノラマが楽しめる。観音前広場＝写真＝は、

「恋人の聖地」に



選ばれている。大人500円、中高生300円、小学生100円。

その近くにある鉄の歴史館（0193・24・2211）＝写真＝は、

製鉄の歴史や釜石の鉄づくりの歩みを紹介。

高さ15 ㍎の

橋野高炉の原寸大模型もある。金属鑄造も体験できる（要予約）。大人500円、高校生300円、小中学生150円。火曜と年末年始が休み。

釜石市中心部から約30 ㍎の山中に橋野鉄鉱山がある。2015年

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の一つとして、世界遺産に。インフォメーションセンター（3月



31日まで休業）がある。無料。

海産物を買いたければ、JR釜石駅前のサン・フィッシュ釜石（0193・31・3668）へ。釜石で水揚げされた魚介類を扱う店が並ぶ。午前7時～午後4時。原則として水曜日定休。

読む

松尾雄治さんが1983年に著した『勝つために

何をすべきか』、85年の『人はなぜ強くなければならないか』

（いずれも講談社、絶版）はエピソードをふんだんに盛り込み、強い組織の秘密を明かす。

『釜石ラグビー 栄光の日々』（上岡伸雄著、2011年、中央公論新社）は、学習院大学教授が

関係者80人近くに取材し、新日